

平和と戦争

古堅中学校

3年2組

名嘉真

夕貴

「戦争しそれは、この地球にいる人々の殺し合いだと思いません。」

どうして同じ地球にすんでいる人々が仲よくできないのか、どうして何もしていない人達が戦争でむごい死に方をしないといけなかつたのか私はとても疑問に思います。

64年前、私達が往んでいるこの沖縄にも戦争がありました。私は何回か戦争についての

ことを聞いたことがあります。また、6年生の頃、ツムワがマとチビチリガマを見学したことがありました。私は今でもツムワがマとチビチリガマの暗さや恐ろしさを覚えています。あんなに暗い所でいろんな人達がこわくしておびえながら生活していたんだなあと思いましたが、とても不安でこわかったです。思いました。チビチリガマでは、首のけい静脈をナイフで切って自殺したり、毒のはいったちゅうしやきをさして自殺したり、赤ちゃんから大人

までつぎつぎに命をおとしていったそうです。  
図書館でも沖縄戦についての写真集を見て  
お家などがいっぱい焼けていたり、道に人が  
たおれていたり、いたいたしい写真がいっぱ  
いありました。とても悲しい気持ちになります  
した。

今、問題になっている普天間基地移設問題  
も64年前の戦争があったから問題になっ  
ます。基地の反対集会がひらかれたりしてい  
ます。けれど、へのこに移設するだけで、沖縄  
の人の思いは不可能でした。へのこに移設す  
ることは、自然崩壊にもつながると思います。  
このように戦争というのは、人を不幸にし  
てしまうことだと思います。

この世界に多くの人がいって、多くの国があ  
ります。その中でみんなが仲よく、国どおし  
が仲よくすることは今、むずかしいことかもし  
れません。けれど、仲よくできないからとい  
て戦争という恐ろしいことをするのは絶対に  
いけないことです。戦争をして解決すること

ないと思います。だから話しあいをして国と  
国の問題をみんなで解決していけばいいと思  
います。世界が平和になるにはこのことが大  
切だと思います。

平和とは、世界の人々みんなが安心してくら  
せることだと思っています。

そのために、戦争というものをなくすこと  
そして、64年前にあつたあのいたいたしい戦  
争を二度とおこしてはいけないということを  
みんなが伝え合つていくことが大切だと思い  
ます。この世界が争いごとなく平和になれる  
日がくるといいです。